

6月8日、東北はまだ暑いほどのいい天気が続いている。
今日は大槌町と山田町に足を運ぶことに。保育園を訪問することを、事前に大まかな状況を聞くことと、役場の担当部署のアレルギーへの理解と協力（了解）を得るためである。
大槌町の役場は津波で全壊しており、プレハブの仮設役場がつくられている。



津波で大破した大槌町役場

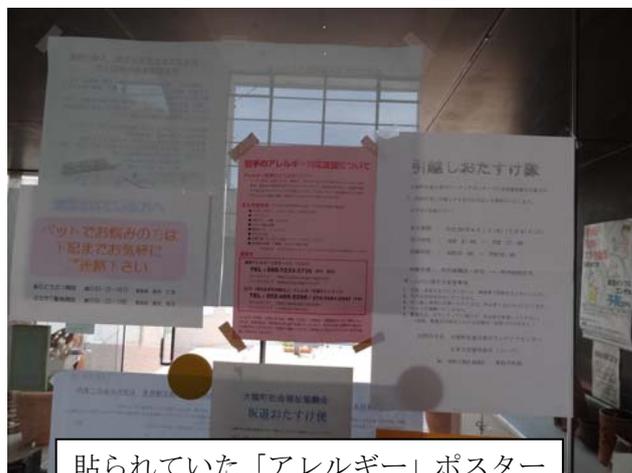


仮設の町役場（福祉課）

保育園の担当者に会い、用件を伝えると、何処もそうであるが、すぐに了解していただいた。
次に、大槌町教育委員会を訪ねる。
教育委員会は中央公民館の中にこれも仮の場所のようだ。公民館全体は避難所になっており、盛岡サークル「ミルク」さんが作ったポスターが入り口に貼られていた。



避難所になっている中央公民館



貼られていた「アレルギー」ポスター



大槌町の様子
津波の被害は何処もすさまじい
全壊した家や、瓦礫がまだそのままの
ところが多い。



